坂下東小学校だより
坂下ひがし
坂下東小学校
令和５年３月１日
№２０

ラストスパートを

いよいよ３月になりました。令和４年度も最後の１カ月を迎えました。卒業・進級に向けての総仕上げの時期です。

６年生は、卒業式に向けての準備が着々と進んでいます。卒業式の練習にも取り組んでいます。卒業アルバム・文集も校正が終了し、できあがりを待つだけになっています。卒業制作も完成に近いです。

５年生は、６年生からの引き継ぎを行っています。鼓笛の引き継ぎだけでなく、朝のボランティア、通学班長、清掃班長など６年生が今までやってきた役目を受け継いでいきます。自分たちが最高学年になるのだという意識も高まってきています。

明日には、「６年生を送る会」が行われます。５年生が中心となっていろいろな企画をしています。各学年の発表もあります。全校生が、６年生に向けて感謝の気持ちを伝えていくでしょう。

３日（金）は授業参観が予定されています。６年生以外のクラスが参観の対象です。（６年生は２月１６日にすでに実施済みです）申し訳ありませんが、マスクを着用の上で参観してください。町内ではまだ感染者が出現しているようです。よろしくお願いします。なお、懇談会では来年度のＰＴＡ学年委員の選出もする計画になっていますのでご協力ください。

来年度の課外活動について

２月１７日までに、来年度の課外活動への希望調査を行いました。陸上部、相撲部、については、最低５人以上、合唱部については１０名以上という最低人数を設定して募集しました。（人数については、チーム・団体として成立する範囲で設定しました）

その結果　陸上部２４名、相撲部２名、合唱部９名という結果でした。

来年度については、人数を満たした陸上部のみを設置とします。あくまでも課外の活動ですので、教員の負担にならないように活動を行います。（教員は授業に最も力を注ぎます）中学校の部活動も地域移行が進んでいます。ご理解ください。

子どもの特性に合わせて

子どもたちは、それぞれ特性を持ち合わせています。どの子も多面的に見れば違っています。身体的、精神的、成育的に違うのでまったく同じ子はいません。

学校生活や学習では、その特性の部分で本人に困り感が生じる場合があります。視覚、認知、情緒などさまざまです。学校だけではそれを十分に把握できない部分があります。そのため福祉、医療につながることで指導の方向性が分かる場合があります。福祉や医療につながればすぐさま特別支援教育へ勧めるわけではありません。

発達段階の早い段階で本人の特性がわかれば、それに応じた指導が可能です。児童の困り感も軽減します。早めの対応をすることで、特性を補うこともできます。

学校では、スクールカウンセラーが子どもたちの様子を把握して、的確なアドバイスをしてくれています。特別支援教育は、特別支援学級のためだけのものではありません。子どもの特性に応じて行っています。

森林環境学習

５年生が２月２２日に「森林環境学習」を行いました。

地元の木材を利用して、フォトフレームを作成しました。ほぞ組を利用して、釘を使わずに作っていました。講師の先生の指導の下で、自分でやすりをかけたり、木工用ボンドを使って接着したりしながら作っていました。できあがってからは、森林の役割などの学習もしました。

県立博物館見学

３年生が２月２４日に県立博物館の見学をしてきました。

社会科で昔の道具を学習する単元があります。博物館には、古い道具も多数展示されていて、実際に触れることができました。体験をしてみると、昔の人々の苦労も少しわかったようでした。先人の知恵も学ぶことができたいい体験学習になりました。